

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	森川産業株式会社					
代表者名	氏名	森川 潤一	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県千曲市大字鋳物師屋150					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	鋳鉄鋳造及び機械加工					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	5748	5575	5767	6305	6430
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	11928	11570	11979	13099	13370
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	12		12	12	12
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	23				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

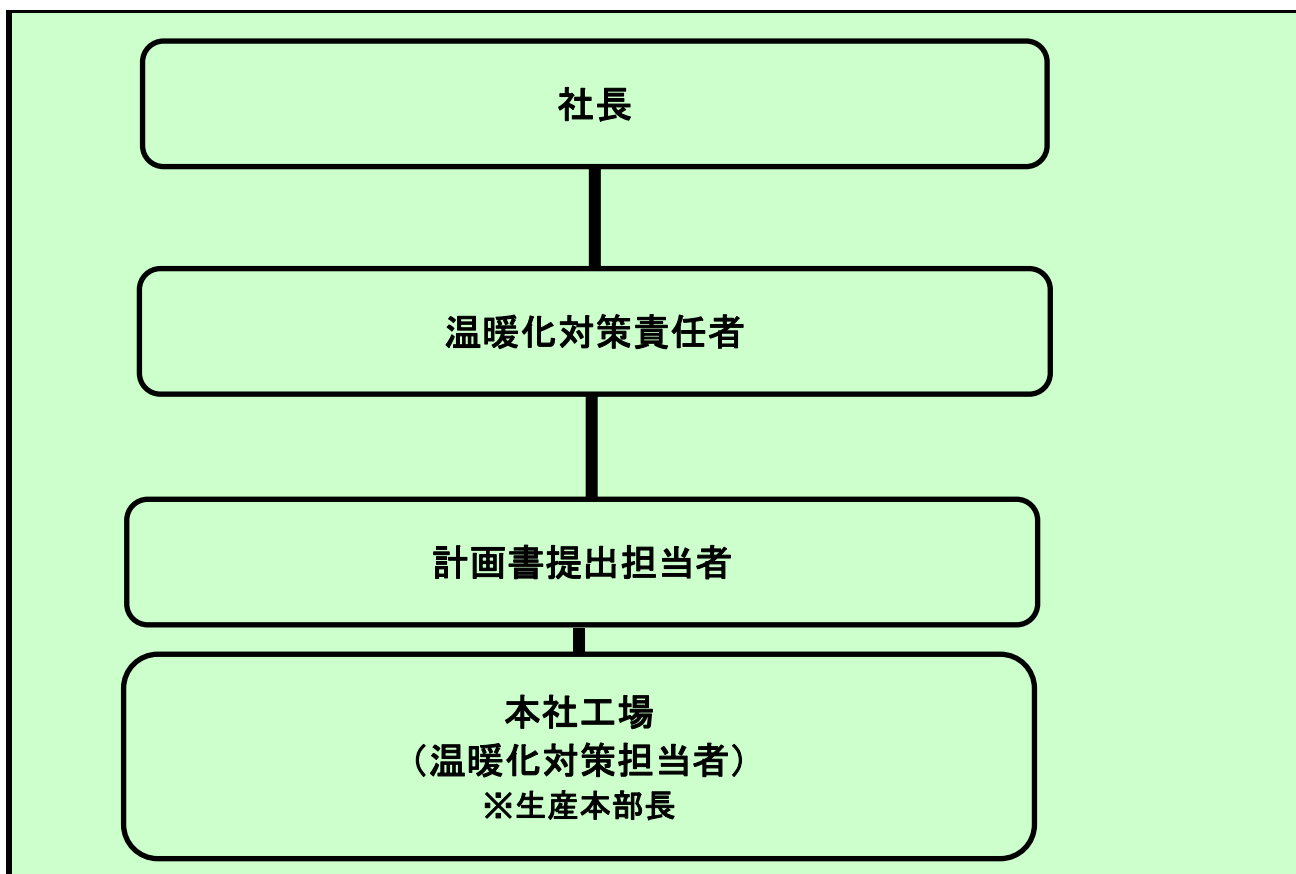
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所 本社工場 時間 8:00～17:00 担当部署 総務ブロック 連絡先 026-272-0640
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

弊社環境方針ならびにエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき、進捗管理を進めます。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進委員会 1回/2ヵ月

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	11,928	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	11,844	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	11,570	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	平成25～27年にかけて新ライン導入が行われた。平成28年においては品質の安定化、良品率の向上により排出量、原単位とも状況は好転している。一方、売り上げは減少した状況にあるため、売り上げ増加時の変動影響をできるだけ抑えるよう取り組んでいく。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	11,979	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	11,334	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	(0.43)	%	削減率		%		1.5
排出量等の増減理由	28年度に引き続き、29年度も新ラインであるDISAラインにおいては品質の安定と良品率の向上が進んだ。しかしながら、全体的な受注の減少と影響を抑えるための外注製品の内作化ならびに消失模型鑄造ラインにおける顕著な受注減少（稼働4～6h/日）は生産効率の押し下げ要因となった。							
第二年度	排出量	13,099	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	13,509	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	(9.82)	%	削減率		%		4.2
排出量等の増減理由	主力生産ラインであるDISAラインの受注・生産量が年間を通じて安定し、品質・生産出来高も改善が進んだため、原単位自体は堅調に推移した。一方、生産量の増大により排出量は増加傾向にある。							
第三年度	排出量	13,370	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	15,827	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	(12.09)	%	削減率		%		5.7
目標の達成状況及び排出量の増減理由	主力生産ラインであるDISAラインの受注・生産量が年間を通じて安定し、品質・生産出来高も改善が進んだため、原単位自体は堅調に推移した。一方、生産量の増大により排出量は増加傾向にある。							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	年度	調整後排出量	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
	年度	目標削減率	%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		0	t-CO <sub>2</sub>		単位	
	調整後排出量			t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	削減率			%	削減率		%
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量			t-CO <sub>2</sub>		単位	
	調整後排出量			t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	削減率			%	削減率		%
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		0	t-CO <sub>2</sub>		単位	
	調整後排出量			t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	削減率			%	削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	23	t-CO <sub>2</sub>			
28年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明	削減に向けた具体的な数字目標は設けていないが、低減の取り組みは引き続き進めていきたい。					
第一年度	排出量	19	t-CO <sub>2</sub>	削減率	17.39	%
29年度						
排出量等の増減理由	品質の安定による外部出張・移動の減少などによる。					
第二年度	排出量	21	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.69	%
年度						
排出量等の増減理由	品質の安定による外部出張・移動の減少などによる。					
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299 本社集じん設備の更新	29~31	33		
2	エネ起	360799 コンプレッサーの更新と分散設置	29~31	58	30	55
3	エネ起	350605 受変電設備6.6kV変圧器の更新	29~31	52		
4	エネ起	380753 高効率照明機器と器具の更新	29~31	39		
5	エネ起	320203 溶解炉の出湯制御による原単位の向上	29~30	195	29	195
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	84		645	-410	-2457
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	11,234	1	11,316	1	12,464	1	12,897
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	694	2	663	2	635	1	473
合計	3	11,928	3	11,979	3	13,099	2	13,370

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	3	3	3	6
合計	3	3	3	6
自動車総数	12	12	12	12
次世代車導入割合	25	25	25	50

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率92.6%。
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001環境マネジメントシステム	2003. 12. 19
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	自動車メーカーが取り組む「電動化」等のテーマに沿って、製品製造を行っており、電気自動車用の部品開発・製造にも携わっている。
第三年度実績	自動車メーカーが取り組む「電動化」等のテーマに沿って、製品製造を行っており、電気自動車用の部品開発・製造にも携わっている。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	・溶解炉の投入材料の改善による電力削減・八幡工場ガスボイラー導入・新ラインによる資源生産性改善による先端生産設備の導入	1500
その他	2019年11月より長野県SDGs推進企業登録制度の登録企業となった。	